

## 環境改善の取り組み (その1)

### 地球温暖化防止(エネルギー削減)

#### 1) エネルギー削減

2001年4月策定の環境基本方針に基づき、製錬・素材部門とその他製造部門各々のエネルギー売上高原単位(原油換算エネルギー使用量/売上高)の削減率目標値ガイドラインを設定し、エネルギー削減に取り組んでおります。

製錬・素材部門では、省エネ設備への転換等の改善による使用量削減と銅、亜鉛、鉛などの非鉄金属地金の大幅な価格上昇により売上高原単位は大幅に低減しております。

また、製錬部門の地金重量当たりのエネルギー原単位も2000年度を1として右図のように年々漸減してきております。

三井金属グループのエネルギー使用量は、一部のその他製造部門の事業拡大による増加がありますが、全体の使用量としては各所社の削減努力により、低減されてきております。

今後も、生産効率を高め省エネルギー活動を進めてまいります。

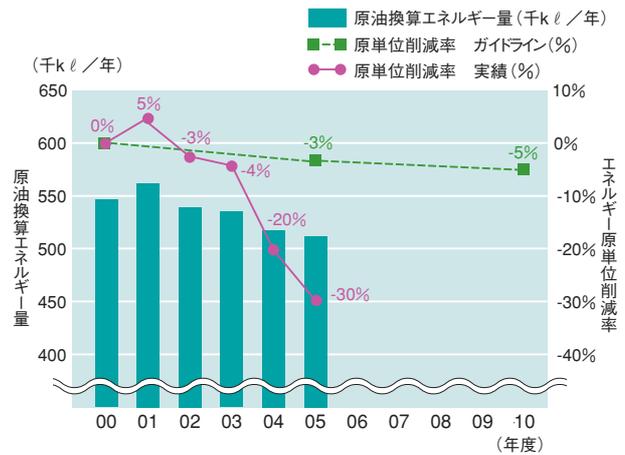
#### 2) CO<sub>2</sub>排出量推移

2005年度の三井金属グループのエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量は、京都議定書・基準年の1990年度に比べて約9%増加しております。その大きな要因の一つは銅・亜鉛製錬の生産拡大にあります。ただし、ここ5年間でみると各所社における燃料構成の転換、省エネルギー機器への転換などにより削減傾向にあります。

今後も電力、コークスの効率的な使用などに重点的に取り組みCO<sub>2</sub>排出量を削減してまいります。

※注 (昨年の環境報告書のグラフからの変更)  
電力のCO<sub>2</sub>排出係数は改正温暖化対策法施行規則に基づいて0.555kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用

#### 製錬・素材部門エネルギー削減計画&実績



#### 地金重量当たりのエネルギー原単位推移 地金重量(銅+亜鉛+鉛)



#### 三井金属グループ全体のエネルギー削減実績



#### 三井金属グループ全体のエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の推移

